

ウェザーニューズ、全国 4,935 本の桜の健康状態を調査 【桜の健康診断 2026】 桜の健康状態は衰退傾向、全国平均で過去最低を記録

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、毎年美しい姿で楽しませてくれる桜を見守り、桜を大切に作る気持ちを育むことを目的として、アプリ「ウェザーニューズ」を通じて桜の健康状態をチェックする調査「桜の健康診断 2026」を実施し、本日、結果を発表しました。

桜の健康診断では、桜の健康状態に関する 6 つの質問に答えていただき、その結果から健康度を指数化し、「優良(+)」から「生育不良(-)」の 12 段階で判定します。全国 4,935 人の参加による集計の結果、今年の桜の健康度は全国平均で 1.80(正常+)となり、調査開始以来、過去最低のランクに低下しました。2025 年は一時的な改善が見られたものの今年は一転、特に樹皮の状態の大幅な悪化や幹の傷みの常態化など、複数の要因で衰退が顕在化する結果となっています。

『桜の健康診断 2026』結果詳細はこちら

ウェザーニューズウェブサイト「桜の健康診断 2026」

<https://weathernews.jp/news/202606/080171/>

◆「桜の健康診断」概要

- ・対象エリア: 46 都道府県(沖縄を除く)
- ・調査期間: 2026 年 2 月 13 日～6 月 1 日
- ・参加人数: 4,935 人
- ・質問項目: 6 項目(「日当たり」、「樹形」、「花の咲き方」、「幹の状態」、「樹皮の状態」、「花数」)
- ・評価: 12 段階(優良(+): 1.00～1.25 / 優良: 1.26～1.50 / 優良(-): 1.51～1.75 / 正常(+): 1.76～2.00 / 正常: 2.01～2.25 / 正常(-): 2.26～2.50 / やや生育不良(+): 2.51～2.75 / やや生育不良: 2.76～3.00 / やや生育不良(-): 3.01～3.25 / 生育不良(+): 3.26～3.50 / 生育不良: 3.50～3.75 / 生育不良(-): 3.76～)

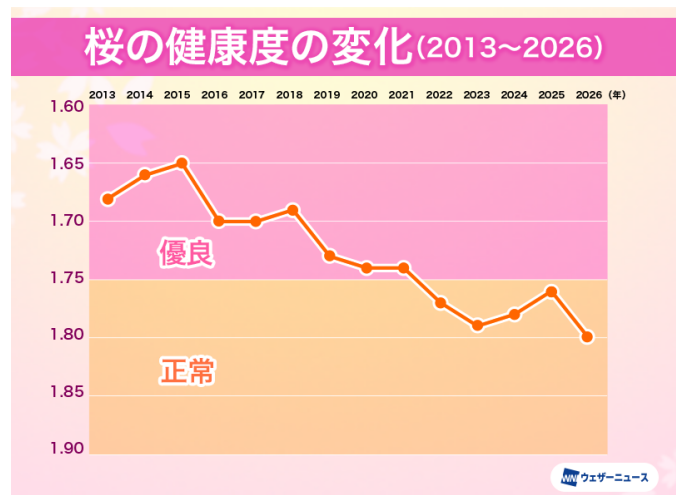
※本調査の対象となる桜は、ソメイヨシノだけでなく、エゾヤマザクラやチシマザクラなども含まれます。

◆桜の健康度は過去最低ランクに 5 年連続で「正常(+)」と衰退が常態化

全国 4,935 人から寄せられた回答を集計した結果、今年の桜の健康度は全国平均で 1.80 となり、「正常(+)」の判定でした。

2013 年から 2021 年にかけて「優良(-)」ランクでしたが、2022 年から 2026 年にかけて 5 年連続で「正常(+)」のランクとなっています。

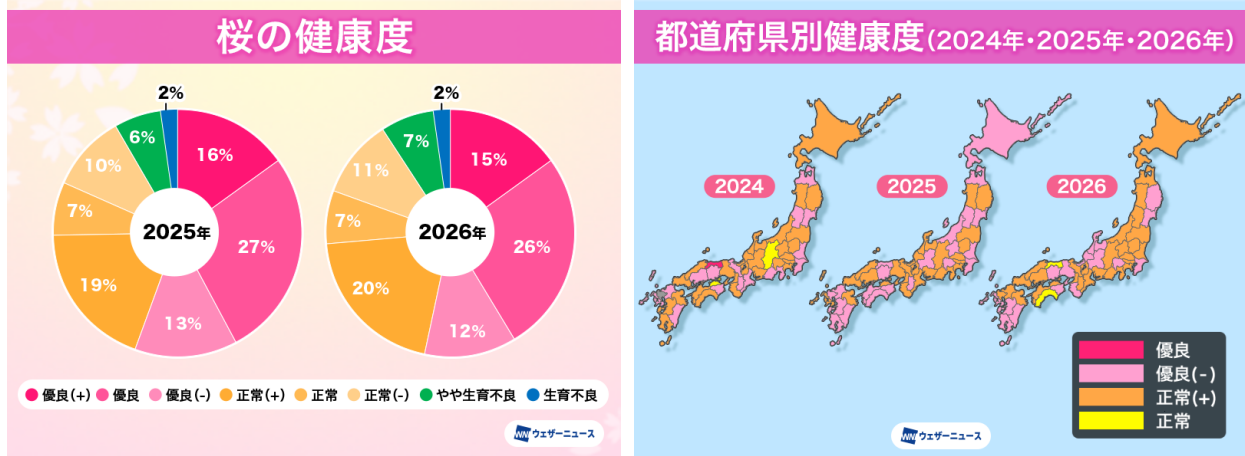
2013 年からの桜の健康度は年々悪化傾向のなかで、2025 年は前年より改善が見られましたが、2026 年は過去最低ランクとなりました。



桜の健康度を昨年と比較してみると、健康度の割合の構成に大きな変化はありませんでしたが、「正常(+)」と「正常(-)」、「やや生育不良」が昨年より1ポイント増加した一方で、「優良(+)」と「優良」、「優良(-)」は昨年より1ポイント減少しました。「正常」と「生育不良」の割合には変化がありませんでした。

都道府県ごとの桜の健康度のランクを昨年と比較してみると、2025年に引き続き2026年も「優良」ランクのところはありませんでした。「優良(-)」となった都道府県は16県で、昨年の21道県よりも減少しました。最も健康状態が良かったのは福井県(1.51・優良(-))、次いで長崎県(1.57・優良(-))、宮崎県(1.61・優良(-))でした。一方、最も健康状態が気になったのは高知県(2.04・正常)、次いで鳥取県(2.02・正常)となりました。

健康度が低下しても、1~2年単位ではほとんど変化に気が付きませんが、衰退が5年も続くと太い枝が2~3本は枯れるなどの影響があります。来年以降も桜の健康状態の変化に注意が必要です。



※「やや生育不良」は「やや生育不良(+)」、「やや生育不良」、「やや生育不良(-)」のポイントを合算した数です。「生育不良」は「生育不良(+)」、「生育不良」、「生育不良(-)」のポイントを合算した数です。

※報告が一定数に満たなかった都道府県は灰色で表示しています。

※日本花の会 樹木医 和田博幸氏からのコメント

「桜の健康診断」に全国から約5千人の方に参加いただき、その関心の高さがうかがえます。

健康度は2024年、2025年と改善が見られましたが、今年は悪化に転じてしまいました。

6つの質問項目全般においても悪化傾向にあり、残念な結果になりました。

桜は日当たりを好む木で、日当たりのいい場所でよく育ちます。

日当たりについては大きな問題はなさそうなのですが、開花状態に関する項目の花の咲き方や花数が悪化傾向にあるのは、昨年は梅雨時に雨が少なかったり、夏の気温が上昇したりなど、桜が花芽を形成する時期に気象の変化があり、このことが花数の減少に影響したのではないかと推測しています。

樹形や幹の状態、樹皮の状態は、桜の樹勢に関する項目です。これらの悪化傾向がとても気になります。この傾向がこのまま続くと、花数にも影響すると思われます。

やがては満開の状況が変化して、花数が少なくなることも考えられます。

これからも環境や気象の変化と桜の状況を関連付けながら、観察を続けていただきたいと思います。

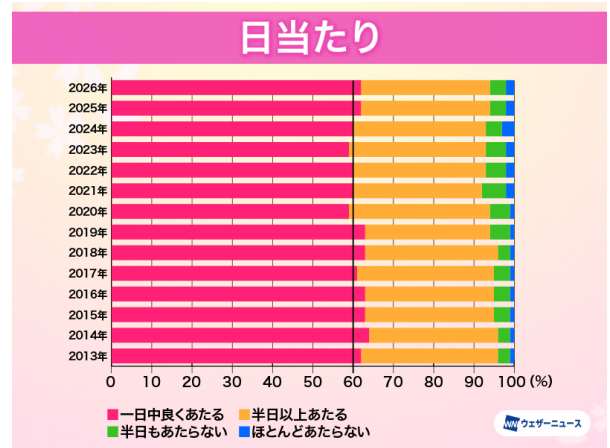
ソメイヨシノの寿命は60年と言われています。ソメイヨシノは戦後に多く植えられたため、当時植えられたものはすでに寿命を過ぎています。弱った桜・病気の桜が増えるのは自然のことです。しかし、病気の治療や土に栄養を与え、土の中の通気性を良くすることで、桜の寿命を延ばすことができます。ウェザーニューズでは今後も、ユーザーの皆さんと一緒に桜の健康状態の変化を追いながら、桜を大切に育てる輪を広げていきます。

◆『桜の健康診断 2026』項目別の結果

<日当たり:「一日中良くあたる」が 62%で前年並>

日当たりについて「一日中良くあたる」、「半日以上あたる」、「半日あたらない」、「ほとんどあたらない」の 4 項目から選択していただきました。

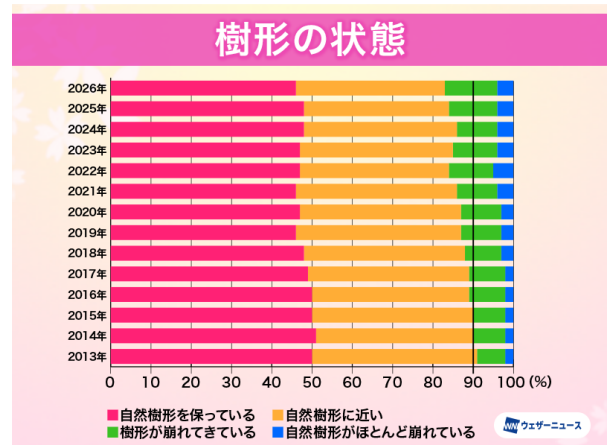
集計の結果、最も割合の高かった「一日中良くあたる」の割合は 62%で、2025 年と同じ結果となりました。「ほとんどあたらない」の割合は、長い目で見ると増加傾向です。



<樹形:「樹形が崩れてきている」は過去最多に>

樹形(樹の立ち姿)について、「自然樹形を保っている」、「自然樹形に近い」、「樹形が崩れてきている」、「自然樹形がほとんど崩れている」の 4 項目から選択していただきました。

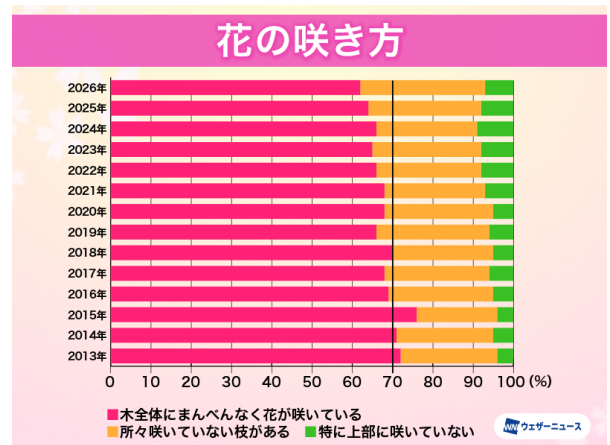
集計の結果、2013 年からの長い目で見ると「自然樹形を保っている」の割合は減少傾向が続いています。2026 年の「自然樹形を保っている」は前年より 2 ポイント減少して 46%で、「樹形が崩れてきている」は 13%と 2013 年以来過去最多となりました。



<花の咲き方:「木全体にまんべんなく花が咲いている」が過去最低を記録>

花の咲き方について、「木全体にまんべんなく花が咲いている」、「所々咲いていない枝がある」、「特に上部に咲いていない枝が目立つ」の 3 項目から選択していただきました。

集計の結果、「木全体にまんべんなく花が咲いている」という回答が前年より 2 ポイント減少して 62%で、2013 年以来、最低の結果となりました。また「所々咲いていない枝がある」の項目は前年より 3 ポイント増加して 31%となり、2013 年以降年々増加傾向にあり、花の咲き方に偏りが出てきている傾向が伺えます。

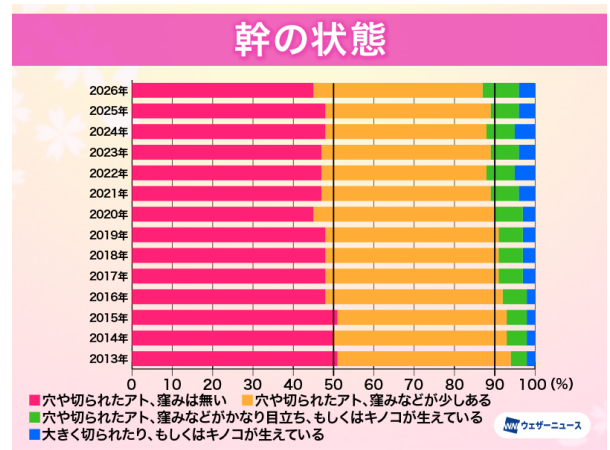


<幹の状態:過半数が不健康な状態が継続>

幹の状態について、「穴や切られたアト、窪みは無い」「穴や切られたアト、窪みなどがかなり目立ち、もしくはキノコが生えている」「大きく切られたり、もしくはキノコが生えている」の4項目から選択してもらいました。

集計の結果、「穴や切られたアト、窪みは無い」の割合が前年より3ポイント減少して45%と低下し、何らかの傷みがある不健康な状態の回答が55%を超えました。穴や窪み、キノコなどがある不健康な状態の回答は2016年以来5割を超えており、全国的に幹の傷みが常態化しています。

健康そうに見える幹でも、キノコが生えているものは中が腐っている可能性があり、専門家による診断が必要になります。

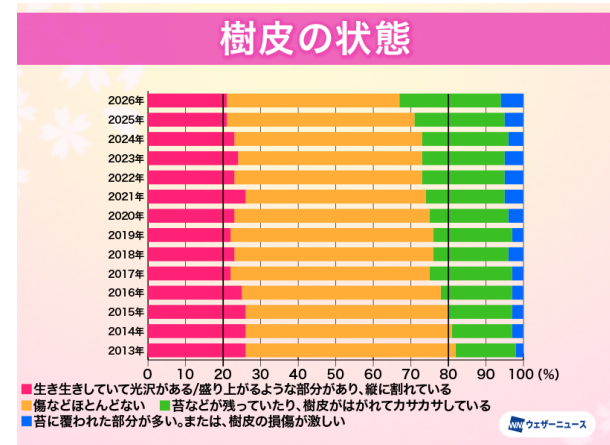


<樹皮の状態:生き生きとした樹皮が15年間で半減、樹皮の状態が深刻化>

樹皮の状態について、「生き生きして光沢がある/盛り上がるような部分があり、縦に割れている」「傷などほとんどない」「苔などが残っていたり、樹皮がはがれてカサカサしている」「苔に覆われた部分が多い。または、樹皮の損傷が激しい」の4項目から選択していただきました。

集計の結果、今年の6項目の中で最も悪化が目立った項目でした。「生き生きして光沢がある」の割合が前年より1ポイント減少して20%と過去最低を更新し、「傷などほとんどない」も前年より4ポイント減少して46%と大幅に低下しました。一方で「苔などが残っていたり、樹皮がはがれてカサカサしている」の割合が27%と過去最多を更新しました。本調査を開始した2011年当時は42%あった「生き生きしている」の割合が、15年間で20%にまで半減しており(※グラフは2013年以降を掲載)、桜の樹皮の状態悪化が深刻になっています。

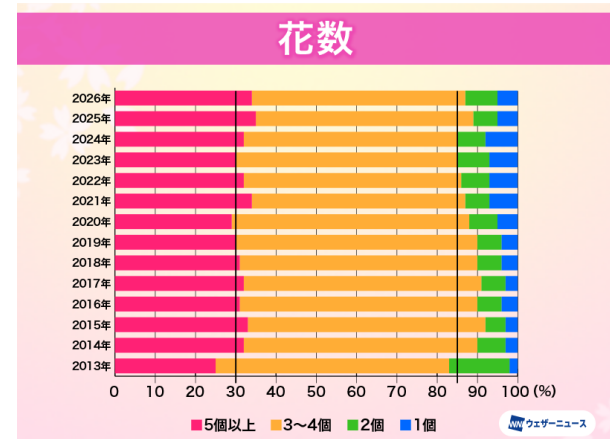
苔はあまり害にならないといわれますが、樹皮がはがれてカサカサしていたり損傷が激しい場合、土の中の通気性が悪く、桜の生長が止まっている可能性があります。



<花数:つぼみの花数が少ない桜が増加>

花の数について、「5個以上」「3~4個」「2個」「1個」の4項目から選択していただきました。

集計の結果、「5個以上」が前年より1ポイント減少して34%、「3~4個」が前年より1ポイント減少して53%とやや減少しました。「2個」が前年より2ポイント増加して8%となっており、つぼみの花数が少ない木が増える傾向が続いています。



◆都道府県別、健康度ランキング

2025年				2026年			
順位	都道府県	健康度	判定	順位	都道府県	健康度	判定
1位	徳島県	1.57	優良(-)	1位	福井県	1.51	優良(-)
2位	青森県	1.63	優良(-)	2位	長崎県	1.57	優良(-)
3位	愛媛県	1.64	優良(-)	3位	宮崎県	1.61	優良(-)
4位	鹿児島県	1.67	優良(-)	4位	岡山県	1.64	優良(-)
5位	群馬県	1.68	優良(-)	4位	山梨県	1.64	優良(-)
6位	宮崎県	1.69	優良(-)	6位	宮城県	1.66	優良(-)
6位	熊本県	1.69	優良(-)	6位	和歌山県	1.66	優良(-)
6位	北海道	1.69	優良(-)	8位	岩手県	1.67	優良(-)
9位	佐賀県	1.70	優良(-)	8位	熊本県	1.67	優良(-)
10位	鳥取県	1.71	優良(-)	10位	鹿児島県	1.69	優良(-)
10位	岡山県	1.71	優良(-)	10位	石川県	1.69	優良(-)
12位	奈良県	1.72	優良(-)	12位	岐阜県	1.72	優良(-)
12位	千葉県	1.72	優良(-)	13位	富山県	1.73	優良(-)
12位	宮城県	1.72	優良(-)	13位	兵庫県	1.73	優良(-)
15位	茨城県	1.73	優良(-)	15位	徳島県	1.74	優良(-)
15位	山形県	1.73	優良(-)	16位	千葉県	1.75	優良(-)
15位	岐阜県	1.73	優良(-)	17位	茨城県	1.76	正常(+)
15位	山梨県	1.73	優良(-)	18位	愛媛県	1.77	正常(+)
19位	福岡県	1.74	優良(-)	18位	東京都	1.77	正常(+)
19位	高知県	1.74	優良(-)	20位	秋田県	1.78	正常(+)
21位	新潟県	1.75	優良(-)	20位	山形県	1.78	正常(+)
22位	大阪府	1.76	正常(+)	22位	三重県	1.79	正常(+)
22位	福島県	1.76	正常(+)	22位	長野県	1.79	正常(+)
24位	山口県	1.77	正常(+)	24位	静岡県	1.80	正常(+)
24位	京都府	1.77	正常(+)	24位	京都府	1.80	正常(+)
24位	長野県	1.77	正常(+)	26位	奈良県	1.81	正常(+)
24位	兵庫県	1.77	正常(+)	26位	神奈川県	1.81	正常(+)
24位	大分県	1.77	正常(+)	26位	大分県	1.81	正常(+)
24位	愛知県	1.77	正常(+)	26位	愛知県	1.81	正常(+)
24位	石川県	1.77	正常(+)	30位	島根県	1.82	正常(+)
31位	長崎県	1.78	正常(+)	31位	福島県	1.84	正常(+)
31位	三重県	1.78	正常(+)	31位	滋賀県	1.84	正常(+)
31位	秋田県	1.78	正常(+)	33位	大阪府	1.85	正常(+)
34位	神奈川県	1.79	正常(+)	33位	青森県	1.85	正常(+)
34位	広島県	1.79	正常(+)	35位	北海道	1.86	正常(+)
34位	埼玉県	1.79	正常(+)	36位	山口県	1.87	正常(+)
37位	東京都	1.81	正常(+)	36位	群馬県	1.87	正常(+)
37位	岩手県	1.81	正常(+)	38位	新潟県	1.88	正常(+)
39位	静岡県	1.82	正常(+)	38位	栃木県	1.88	正常(+)
39位	和歌山県	1.82	正常(+)	38位	埼玉県	1.88	正常(+)
41位	福井県	1.84	正常(+)	41位	香川県	1.89	正常(+)
42位	香川県	1.86	正常(+)	41位	広島県	1.89	正常(+)
43位	富山県	1.87	正常(+)	43位	福岡県	1.91	正常(+)
44位	栃木県	1.90	正常(+)	44位	佐賀県	1.93	正常(+)
45位	滋賀県	1.92	正常(+)	45位	鳥取県	2.02	正常
45位	島根県	1.92	正常(+)	46位	高知県	2.04	正常
全国平均		1.76	正常(+)	全国平均		1.80	正常(+)